

奨学金返済支援制度の取組状況について

1 要旨・目的

- 県内中小企業等における奨学金返済支援制度に係る取組状況について報告する。

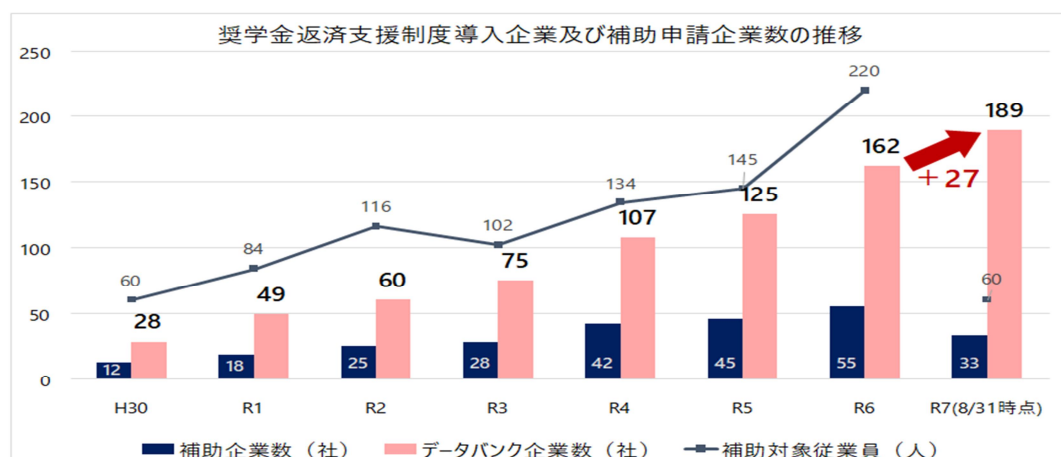
2 現状・背景

- 学生の約2人に1人が奨学金を受給している現状において、県内企業の若手人材の確保という課題に対し、従業員の奨学金返済支援制度を設ける県内企業を支援することで、採用力・定着率の向上及び人への投資に取り組む企業の増加を図るとともに、学生等の県内中小企業への興味・関心を促す。
- 従業員の奨学金返済支援を行う企業に対する補助については、今年度から補助率の引上げ、補助上限額の撤廃などを行い、3年間で総額1億円超の支援を見込んでいる。

3 取組状況

	制度導入企業数	補助金活用企業
令和7年度目標	175 社	57 社
令和7年8月末時点の実績	189 社	33 社

- 補助金制度の見直しにより、企業の実負担を軽減しながら制度の充実が可能となることや制度導入にあたっての工夫点にも触れた補助金制度説明会を6月にオンラインで開催（90社以上が参加）するとともに、説明動画を公開（視聴回数500回以上）するなど広報を行った。
- 「広島県奨学金返済支援制度導入企業データベース」の登録企業については、令和7年度目標の175社に対し、8月末時点で189社（うちR7年度の新規登録数27社）と目標を既に達成しており、制度に対する関心と制度導入の機運は着実に広がっている。
- 「令和7年度 Go! ひろしま奨学金返済支援制度導入企業応援補助金」の活用企業については、令和7年度目標の57社に対し、8月末時点で目標の50%を超える33社となっており、順調に増加している。
- また、補助率の高い人的資本経営開示枠による申請を準備している企業も複数社あることから、人的資本経営の情報開示に取り組む企業への後押しにもなっている。



4 今後の取組

- 既に制度を導入している企業に対し、採用力の向上や離職率の低下などの効果について、ヒアリング等を行うとともに、採用活動や従業員のモチベーション向上等へ効果が見られた事例については、県内企業に情報提供を行うなど、制度導入拡大や補助金の活用促進に向けて取組を実施する。
- また、制度に興味・関心を持つ県内企業における年度後半や来年度からの制度導入を促進するため、改めて経済団体を通じた広報を行うほか、企業から相談を受ける機会の多い社会保険労務士などの専門家等への周知を強化する。
- 加えて、データバンク登録企業の人材確保に向けた取組を支援するため、県の就職・転職相談窓口「働きたい人全力応援ステーション」（愛称「はたすて」）の利用者とのマッチングや、県求人サイト「ひろしまワークス」等でのアピールを予定している。

はたすて合同企業説明会

日時：令和7年10月15日（水）13:30～16:00

場所：広島県立総合体育館 小アリーナ棟B1F 中会議室

5 予算（単県）

34,377 千円（債務負担行為 40,492 千円）

6 関連ホームページ

▼令和7年度 Go！ひろしま奨学金返済支援制度導入企業応援補助金のご案内

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/shogakukin-hensai-shien-hojokin.html>

▼従業員に対する奨学金返済支援制度導入企業（広島県奨学金返済支援制度導入企業データバンク登録企業）一覧

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/shsk-list.html>